性则人具, 刑佣老人具 次按照组员

		符別	一	見・肛	出伪不	会具	Į	貸俗取	待准	Ì	
	一般財団法人 一般財団法 <i>)</i>					程に基づ	(令和 (員氏名 自署) 下記のとおり	年届け出	ます。	日
					Ī	2					
	旧所属。	名						旧所属コー	ド		
	フリガ	ナ						旧職員番兒	클		
	氏 名							特別会員番	号 ※		
① 特	生年月日		昭和	年	月	日	(歳)			
	現職会員 資格取得年	平成 令和	年	月	日		自宅電話				
別会員	特別会員とな (退職年月日の	令和	年	月	日		携帯電話				
貝	退職後の住所		₹								
	受取金融机	金融	機関名	支)	吉名)		口座番号		名義	(カタカナ)	
	第2連絡	氏名		続	柄		電話番号	'			
	□あり	□ カ	1入を希望	望する -	→ ②配係	君会員欄	を	記入してくだる	さい。		
配	ロなし	□ 加入を希望しない → 該当に☑し、詳細を記入してください。									
偶者	(該当に☑)		既に特別会員のため			特別会員番号			(フリガ		
	→ ありの場合、 □		現職会員(本務者)のため 職員番号						氏。	Á L	
	(該当に☑) フリガ		その他:	具体的な理	!由 (77 / 27 / 2 2	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	<u> </u>)	
2	氏 名 (配偶者自署)							配偶者会員都	音号 ^	`	
配								携帯電話			
偶者会員	生年月日		昭和 平成	年	月	目	(歳)			
会員		W HH		機関名、	支	吉名		口座番号		名義	(カタカナ)
	受取金融機関		()	()					

< 一括払掛金の算出 >

1 下表の<u>該当する退職時年齢 を〇で囲み</u>、右欄の給料月額を記入してください。

	区分	必要納入 月数	算出の基となる給料月額	給料月額		
退職時年齢	退職時年齡 算定期間			(教職調整額、調整額を含む。)		
55歳 から	36歳から 60歳までの間	300月	退職月の給料月額		円	
60歳	61歳から 65歳までの間	60月	退職月の給料月額×70/100 (円未満切捨)	В	円	
61歳以降	36歳から 60歳までの間	300月	退職月の給料月額×100/70 (円未満切捨)	A	円	
01成以阵	61歳から 65歳までの間	60月	退職の日の属する月の給料月額	В	円	

2 上表の給料月額により、未納月数に該当する一括払掛金を記入してください。

	必要納入 月数 ①	納入済 月数 ②		未納月数 ① - ②		給料月額		掛金率		一括払掛金	
	300月		月		月	A		円	×3/1000		円
特別会員	60月		月		月	В		円	×3/1000		円
	計										円
配偶者 会員 特別会員になるための掛金総額(360月)と同額							*	円			
- 승 하								*	円		
納入方法 □ 退職生業資金から控除 (不足分は、振込により納入) (該当に☑) □ 振込により納入)				

<	確認事項	>	次の事項について確認の上、	☑を入れてください。
---	------	---	---------------	------------

	この届	『を提出後、	資格取得を国	又り消すす	昜合は、	第6条第5	号の規定に基づく	〈資格喪失
Ш	とし、	退会給付金	の給付適用。	となること	とを確認	いました。		

【 互助会使用欄 】

一括払掛金	退職生業資金	払込額
円	円	円

【 注意事項 】

- (1)※印の欄は記入しないこと。
- (2) この届けは退職後2か月以内に提出すること。
- (3) 会員氏名欄及び配偶者氏名欄は、特別会員及び配偶者会員がそれぞれ自署すること。
- (4) 配偶者が加入する場合は、「配偶者の戸籍抄本」又は「本人及び配偶者記載の住民票」(写し可)を添付すること。